

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	商店街活性化支援事業			事業コード	1277
担当課等	所属名	商工観光部 商工課	担当係名		
	課長名	商工観光部商工課長 沼田 秀彦	担当者名	商工観光部 商工課	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	多様で活発な商業・サービス業の振興	コード 3
	基本事業	魅力ある商店街の形成支援	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 商店街活性化支援事業 (015-02)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 7年度～)		
事務事業の概要	商店街が行うイベント事業や情報発信事業への補助を行う。また、商店街の空き店舗対策として専門相談員による店舗の誘致や経営指導、改装費への補助を行い商店街の活性化を図る。					
根拠法令等	盛岡市商店街活性化事業補助金交付要領、盛岡市空き店舗出店費補助金交付要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成7年度に商店街等からの支援要望により開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
商店街等を取り巻く状況は年々厳しくなっており、補助率や補助総額を上げることを望まれている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
商店街等の集客力は低下傾向にあるが、行政支援や商店街等の努力により下げ止まりつつあった。しかし、東日本大震災により経営状況が変化しており、見通しが不透明である。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市内の商店街等の団体、市民団体等、日本在住の人	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市内商店街等の団体数	単位	団体
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・商店街等の活性化を目的としたイベント事業、リフレッシュ事業、情報発信事業に対し助成した。 ・専門相談員を配置して既存店及び新規出店に対する個別指導、空き店舗調査、空き店舗出店費補助金の交付を行った。 ・映画の街盛岡に関連した事業を行い中心市街地の活性化を図った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 補助金額	単位	千円
				B. 空き店舗出店費補助金交付件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・市民団体及び商店街等が実施するイベント事業を支援することで、商店街の新しい魅力を引き出すと共に、更なる賑わいと活力を促進する。 ・既存店等への個別指導や、新規出店者への空き店舗補助金交付などを行い、商業活性化を図る。 ・映画館通りがある「映画の街盛岡」という特色を活かした事業を行い中心市街地の活性化を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市内小売業の年間販売額(商業統計) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	百万円
				B. 市内小売業商店数(商業統計) 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	店
				C. 市内小売業従業者数(商業統計) 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	商店街ににぎわいがある	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	中心市街地の小売年間販売額(単位: 百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市内商店街等の団体数	団体	41	39	38	38	38	38	26年度 38
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	補助金額	千円	7,224	14,829	9,300	9,615	9,965	9,965	26年度 9,965
活動 指標B	空き店舗出店費補助金交付件数	件	6	3	10	9	11	11	26年度 11
活動 指標C									年度
成果 指標A	市内小売業の年間販売額(商業統計)	百万円	-	-	400,000	366,645	366,645	366,645	26年度 366,645
成果 指標B	市内小売業商店数(商業統計)	店	-	-	3,000	2,851	2,851	2,851	26年度 2,851
成果 指標C	市内小売業従業者数(商業統計)	人	-	-	23,000	21,713	21,713	21,713	26年度 21,713

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	7,224	26,877	20,167	23,427	25,873	25,873	*****
財源 内訳	④国	千円		9,959			500	500	*****
	⑤県	千円		3,482	4,336	4,169	14,119	14,119	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	7,224	13,436	15,831	19,258	11,254	11,254	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	7,224	26,877	20,167	23,427	25,873	25,873	*****
	延べ業務時間数	時間	423	480	423	500	500	500	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,692	1,920	1,692	2,000	2,000	2,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,916	28,797	21,859	25,427	27,873	27,873	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 本事業の意図は、イベント内容を充実させて商店街の集客力を高め空き店舗を減らすことであり、結果と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 商店街等を活性化することは、地域住民の利便性確保や安全安心のまちづくりにつながるほか、都市整備インフラの有効活用に寄与すると考えられるため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象とする団体は盛岡市内にある商店街等であり妥当であると考えられる。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 商店街等を対象とした補助メニューを増やすことなどにより成果を向上できる可能性があるが、財政上の制限もあり、現状で妥当だと思われる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 商店街等を対象とした補助メニューを増やすことや補助金総額の増額、補助率の向上により成果を拡大できる可能性がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 商店街等の組織としての活動が減少し、組織自体が無くなる可能性がある。また、空き店舗も増加し商店街の賑わいが無くなることが考えられる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 県の岩手希望ファンド ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 県の岩手希望ファンドとは目的を類似しているが、商店街等が行うイベントを含む新規の事業が対象である。市の事業は継続イベントも対象となることから、おのおの事業の連携を図ることで成果向上の可能性はある。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費を削減することによりイベントの集客力が弱くなることが考えられるほか、空き店舗が増加する可能性もあるため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 補助事業については、盛岡市商店街連合会事務局がかなりの部分の業務を負う形となっており、市は最小限の人件費としているため削減余地は無いと考えられる。また、『映画の街盛岡』推進事業についても、ボランティアスタッフの業務負担が大きく、市は最小限の人件費としており削減余地は無いと考えられる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 補助対象は、盛岡市商店街連合会加盟団体を中心とした盛岡市内にある商店街等としており、また、空き店舗補助金は日本在住の方を対象としているため、受益機会は適正であると考えられる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	

理由: 補助対象となっている商店街等からは補助率の向上を求められており、県内近隣他市と比較しても最低の補助率を上げると同時に予算を増額することによって、費用負担を適正化できる余地がある。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 商店街等からは補助率の引き上げを求められているため検討する。また、県事業の担当であるいわて産業振興センターとの連携を図っていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 補助対象とするイベントを増やすことや、補助率を上げることに伴い、事業予算を増額する必要がある。現状では、他事業予算を減額して事業予算を確保するよう財政課から求められているが、他事業の減額は事業効果の減少につながり成果が向上しないことが考えられる。</p>
----------------	---

#### 5. 課長意見

一次 評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :</p> <p>② 有効性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :</p> <p>③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :</p> <p>④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>各種補助事業や空き店舗対策のほか、緊急雇用創出基金事業や商店街活性化条例の制定などにより、商店街の活性化を図った。</p>					
今後の 方向性 と改革 改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携         </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>商店街の活性化を図るため、他の産業支援機関との情報交換を行うとともに、今後とも継続した支援を実施する必要がある。また、支援に当たっては、各種支援制度の有効活用の観点からも相談指導に当たっていくものとする。</p>						